

雲母(きらら)にゆうす

Vol. 12 ('05.) Dec

発行 雲母倶楽部

住所 仙台市泉区南光台 3-20-3

TEL 022-234-1711

<はじめに> 

冬の訪れを感じさせる今日この頃、冷えきった日々が続く、今年も後一ヶ月を切りました。慌ただしく変化してきた1年。皆さまにはどのような1年だったのでしょうか？

今月は前月号に引き続き、芸術鑑賞[Part 2]として『作家・宮尾登美子の世界展(仙台市文学館)』『堤焼き乾馬窯(仙台堤焼)』の行事、利用者さんの話題などを中心に紹介していきます。

(メンテナンス・ケア班 長尾)



< 芸術鑑賞会 ~Part2~ >

【 文学館 】

秋晴れの中、希望された利用者さんと一緒に11月11日(金)仙台市文学館に行ってきました。

特設では「宮尾登美子の世界展」を、生きぬく情熱を見据えて鑑賞しました。

また、常設では仙台の文豪たちが紹介されており、その中の土井晩翠のコーナーでは、『荒城の月』の歌詞を見ながら皆で歌い、芸術の秋を満喫しました。

(メンテナンス・ケア班 及川)

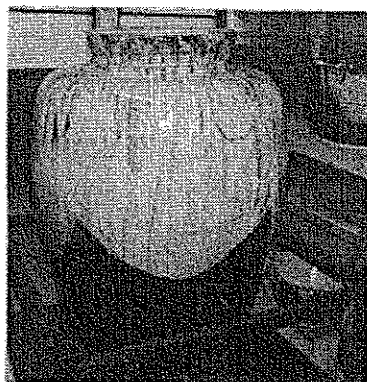
【 堤焼乾馬窯 見学で堪能 】

11月17日(木)、利用者さんの希望で「堤焼乾馬窯」を見学に行きました。

仙台の北街道に堤(つつみ)という焼物の町[泉区上谷刈]があります。(水の森公園キャンプ場奥に位置しています。)

針生家は代々、伊達藩のご用窯を勤めており、針生乾馬先生の案内により、工場・作業場・作品等を見学させていただきました。その中でとても印象的だったのは、東日本随一といわれる焼窯です。見学した作品は大小の水指し・茶碗・茶入れ・花器等、格調高い作品が多く展示されていました。

堤の土の中から生まれた力強い厚手の器は、風土性の強いものが感じられ、伊達藩・堤焼乾馬窯はぜひ必見です。一度は訪ねてみてはいかがでしょうか。(メンテナンス・ケア班 長尾)

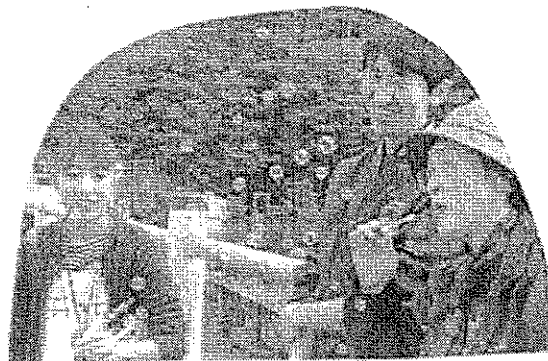


< 散歩の時間 > 

きららでは、目的を持った外出（行事など）の他にも、散歩や日なたぼっこ、運動などをする為、近所の公園や台原森林公園などに毎日のように出かけています。利用者さんからも「屋内にずっといるよりも、外出した方が楽しい」「気分がリフレッシュされる」と好評です。

これからは寒くなるので、外出するにはなかなか厳しい季節になりますが、気温・天候を見て外出などもして行きたいと思います。

(メンテナンス・ケア班 中鉢)



< 編集後記 >

今月のきららニュースはいかがだったでしょうか？早いもので今年もあと残りわずかとなりました。私達きらら倶楽部は、利用者さんからの評判も大変良く、年末は12月30日（金）まで又、新年は2日から営業いたします。

さて、来月号では特別に企画・実行しているイベントの他に、私たちの普段の利用者さんへの接し方などをお伝えしていきたいと考えておりますので、楽しみにしててください。

それでは皆さま、よいお年を！！

(メンテナンス・ケア班 中鉢)



< 共に過ごす時空の中で >

最近ではデイ利用者も増え、毎日が充実し、もっと時間が欲しいと思う今日この頃です。

思い返せばデイサービス開所前は職員とメンバースタッフのみでの生活時間で、その時の会話の中心はもっぱら同じメンバースタッフ同士の一部しか捉えていない内容の話でした。何度も「他人の欠点には目をつぶり、その人の良いところを見つけよう・みよう」と促し、毎日の振り返りにも「1つでいいから、その日にみつけたその人の良いところを書こう等」と言い続けました。すぐに理解し書ける人・何度も何度も時間をかけ説明することで書ける人等さまざまです。

また、それでも納得がいかず事務所のドアを幾度も叩き訪ねてくる人・・・。「他人の良いところを見つける」些細なことだけど、このように心の訓練を重ねてきたからこそ現在のようにお年寄りの方々にやさしく接することができるのだと思います。そうはいってもまだまだ訓練・特訓が必要であり今でも他の人の良いところを見過ごしてしまう中、「いいところを見よう」とその人その人に合った促し等を行っています。

そして、それぞれがその課題をほんの少しでもクリア出来た時の嬉しさは何にも変えられない宝物です。

(職員 佐藤美・小柴)